

# 学校感染症一覧


## 第1種 治癒するまで出席停止とする。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルク病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がSARS(サーズ)コロナウイルスであるものに限る)、鳥インフルエンザ(H5N1)

## 第2種

病名	出席停止期間	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染可能期間	予防方法	好発季節
インフルエンザ	解熱した後2日を経過するまで 	発熱、全身倦怠感、筋肉痛など	気道飛沫	1~3日	発病後3~4日	マスクの着用など「咳エチケット」の徹底 うがい、手洗いの励行 予防注射も効果がある	冬
ひやくにちぜき 百日咳	特有の咳が消失するまで	はじめは軽い咳、のどの発赤がみられる。発病後1週間くらいからコンコンという咳がでる。	気道飛沫	1~2週	発病後28日	患者に近づけない。 予防接種	夏
ましん 麻疹	解熱した後3日を経過するまで	発熱、せき、鼻水、目やに。頬の内側に白い斑点コプリック斑ができる。発熱後4日目より皮膚に発疹。	気道飛沫	9~12日	発疹のでる5日前から、 でた後4日間	患者の隔離 予防接種	冬から春
りゅうこうせいじかせんえん 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺の腫張が消失するまで	37~38℃の発熱。まず片側、ついで両側のあごの後ろが大きく腫れて痛む。 食欲不振、嚥下困難	飛沫	1~2週	発病前7日から 発病後9日	患者の隔離 患者の唾液のついたものが、 健康な人の口にふれないようにする。 	冬から春
ふうしん 風疹 (3日はしか)	発疹が消失するまで	発熱、発疹。 耳の後ろ、首、わきの下などが腫れる。 咳や結膜が充血する。	飛沫 気道	2~3週	発疹のでる7日前から、 でた後7日間	患者の隔離 予防接種	春から夏
すいとう 水痘 (みずぼうそう)	全ての発疹がかさぶたになるまで	水ぼうそうのある発疹が体中に次々と出る。かさぶたとなり、先に出たものから治っていく。	飛沫 気道	2~3週	発疹のでる1日前から、 でた後の6~7日	患者の隔離	冬から春
いんとうけつまくねつ 咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状が消退した後2日を経過するまで。	発熱、のどの痛み、結膜炎 首のリンパ節の腫れ。	気道、 結膜、接触 汚染物	5~7日	発病後 2~3週	眼やのどの健康観察を行い、充血している者や、目やにの出ているものは、水泳禁止とする。 水泳後よく流水で洗う。	夏から秋
けっかく 結核	病状により学校医、 その他の医師において、 感染のおそれがないと認めるまで。	初期は自覚症状なし。 X線で発見されることが多い。 疲労感、寝汗、微熱、体重減少 肩こり、咳、たん	飛沫	1~2ヶ月		BCG接種 X線による早期発見 栄養と休養に注意 	なし

## 第3種

病名	出席停止期間	主な症状	侵入経路	潜伏期間	伝染可能期間	予防方法	好発季節
りゅうこうせいじかくけつまくねん 流行性角結膜炎	病状により学校医、 その他の医師において、 感染のおそれがないと認めるまで。	涙がよく出る。 目やに、異物が入っている感じ。 結膜が充血する。	気道、 結膜、接触 汚染物	5~7日	発病後 2~3週	感染力が非常に強いので、患者のさわったものをよく消毒しておく。 手洗いの励行。	春から夏 5月ごろ
きゅうせいしゅけつ 急性出血性 けつまくねん 結膜炎		きつい充血。 出血してくる。	結膜 汚染物	1~2日	発病後 5~7日	患者のさわったものをよく消毒しておく。 手洗いの励行。	春から夏
ちようかんしゅけつせい 腸管出血性 だいちようきんかんせんしやう 大腸菌感染症		激しい腹痛ではじまり、数時間後に水様性の下痢を起こす。嘔吐、吐き気がある。	口	3~5日		手洗いの励行。 加熱消毒を十分にすること。 	
コレラ さいきんせいせきり 細菌性赤痢 ちよう 腸チフス パラチフス							
その他の感染症							